

2003年広島市会議員選挙

「市民が主人公」の市政めざし 5人が団結して全力でがんばります



写真左から、中森辰一議員(西区)、村上あつ子議員(東区)、藤井とし子議員(安佐南区)、中原ひろみ議員(南区)、皆川けいし議員(中区)
(4月14日 広島市議会 議事堂前にて)

日本共産党は、この市議選のなかで、被爆地ヒロシマから「戦争反対」の声を大きくあげようと訴えるとともに、「草の根から暮らしの声を政治に生かそう」と、乳幼児医療費の6歳児までの無料化、少人数学級の実現、暮らしに役立つ公共事業の推進などの公約を掲げてたたかいました。

また、議員がみずからの態度を有権者に隠す「無記名投票」をやめさせ、市民にわかりやすいガラス張りの議会の実現、海外視察の当面の中止など、議会改革を訴えました。

秋葉市政が掲げる「市民のための市政」を前進させ、公約実現めざして全力でがんばります。ひきつづき、市民のみなさんのご支援をよろしくお願いいたします。

石川武彦議員から
藤井とし子議員へバトンタッチ

